

HEIDI BOOK GROUP

ハイジ読書会

HANDBOOK

日本語版しおり

BY YUKO BRASH

作成者 ブラッシュ 木綿子

はじめに

ヨハンナ・シュピリが小説ハイジを出版したのは 1880 年です。「ハイジの修行時代と遍歴時代」(原題: *Heidis Lehr- und Wanderjahre*) という、なんともまじめな題名のこの本は、すぐにベストセラーとなり、翌年、シュピリは続編の「ハイジは習ったことを使うことができる」(原題: *Heidi Kann brauchen, was es gelernt hat*) を出版しました。今私たちの手に入る本は、この 2 冊が一緒になっている合冊本「ハイジ」で、1 から 14 章までが 1880 年に書かれた第 1 部、15 から 23 章までが 1881 年に書かれた第 2 部になります。この読書会では、第 1 部の 1 から 14 章までを、9 週かけて読んでいきます。

この読書会のしおりは、福音館書店から出ている矢川澄子訳の「ハイジ」(1974 年) に基づいて作成しました。(本文中の引用箇所のパージ番号はこの本のページです。) しかしながら、完訳版であれば、どの訳のハイジを使用しても読書会で困ることはないと思います。参加者が全員同じ訳本を使う必要はありません。お手元に既にハイジの本がある場合は、是非それを使ってください。

このしおりには、9 週を通して、聖書のことばが載っています。その週のディスカッションと関わっていることはもちろん、聖書をよく知らない人の心に残りやすいことばを選びました。クリスチャンが、まだクリスチャンでない人と読書会をする時は、是非ともここに載せた聖書のことばを分かりやすく説明してあげてください。だんだんと会を重ねるごとに福音の核心にせまるようにアレンジされています。9 週が終わるころには、ハイジの素晴らしさはもちろん、聖書の素晴らしさも伝えられることでしょう! 皆さんでそのまま第 2 部に読み進んでももちろん良いですが、この読書会が、自然と「聖書の会」に発展していったら、という願いを込めてこのしおりを作成しました。

聖書は、すべて新改訳 2017 から引用しました。

良い読書会となりますように!

2019 年 5 月 ブラッシュ木綿子

しおりの記号



ディスカッションの質問です。



ここに載っている参考聖書箇所は、もし聖書をお持ちで、調べる余力があれば、ご覧ください。見なくても大丈夫です!

目次

<i>Week 1</i>	1 章	3
<i>Week 2</i>	2 章	5
<i>Week 3</i>	3 章	7
<i>Week 4</i>	4 章	9
<i>Week 5</i>	5 & 6 章	11
<i>Week 6</i>	7 & 8 章	13
<i>Week 7</i>	9 & 10 章	15
<i>Week 8</i>	11 & 12 章	17
<i>Week 9</i>	13 & 14 章	19

Week 1

1 アルムじいの小屋へ

ある6月の朝、デーテはマイエンフェルトからアルムじいの山小屋に向かって姪のハイジを連れて歩く。山の中腹にある小さな村、デルフリで、デーテの友人バルベルが加わり、アルムじいの過去が話題となる。道中ハイジは山羊番のペーターと出会う。アルムの山小屋でアルムじいとデーテは喧嘩別れ。ハイジはアルムじいに預けられることとなる。

舞台：スイスのアルプス

のどか
緑の牧場
おいしい草
香り高い花々
豊かな自然

いかめしい谷
荒れ野
狭くけわしい道
そびえる山
貧しい村

登場人物：

アーデルハイト		おばあ	
アルムじい		ハイジ	
バルベル		ウルゼルばあさん	
ブリギッテ		ペーター	
デーテ		トビアス	



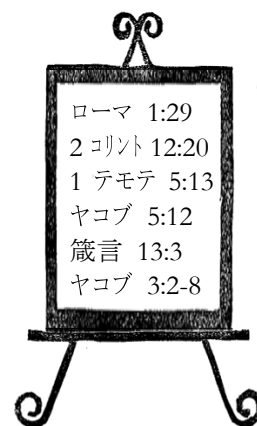
アルムじいの評判はどんなものですか。

おしゃべりのデーテとバルベル

道中、デーテとバルベルはデルフリやその近隣の村の人々のことをあれこれうわさしあいました(3頁)。アルムじいについて知りたいバルベルは、決して他言しないと約束して、デーテからアルムじいの過去を聞き出します(7頁)。



バルベルは他の人に話さなかったと思いますか。秘密・約束を守るのは簡単ですか。噂話は好きですか。



デーテによるアルムじいの過去

アルムじいは、ドムレシュグ有数の農家の長男だった。若い頃素行が悪く、ばくちやお酒で実家を潰した後、消息不明に。兵隊になってナポリに行ったという噂(また、喧嘩で人を殺して軍を追放されたという噂)が立つ。ある日突然男の子(トビアス)を連れて故郷に戻るが、誰も助けてくれず、デルフリに移る。デルフリの村でも人から信用されず、アルムの山小屋で、神とも人間とも付き合わずに暮らしている。





山羊番ペーターの家はどのような様子ですか (12 頁)。ペーターは、夏、どのような一日を過ごしますか (12-13 頁)。

デルフリ村人

- ④ アルムじいがトビアスと共にデルフリに引っ越してきたとき、誰も彼を信用しなかった。
- ④ ペーターの家が非常に貧しいこと、男手がないことを承知の上で、誰も彼らを助けようとしなない。
- ④ ハイジがアルムじいのところに預けられたとき、デーテを咎め、「かわいそうに」を繰り返すが、自分たちでハイジの面倒を見ようとは言い出さない。



息子のトビアスと嫁のアーデルハイトが相次いで亡くなった時、人々はアルムじいの神にそむいた暮らしぶりのせいだと言い、牧師も悔い改めを勧めました (10 頁)。悪いことが起こるのは、その人の行いが悪いからでしょうか。



THE BIBLE SAYS ... 聖書のことば

いのちを愛し、幸せな日々を見ようと願う者は、舌に悪口を言わせず、唇に^{あざむ}欺きを語らせるな。第一ペテロ 3:10

私たちは、ことばや口先だけではなく、^{おこな}行いと真実をもって愛しましょう。第一ヨハネ 3:18

弱い者を虐げる者は自分の造り主をそしり、貧しい者をあわれむ者は造り主を敬う。^{しんげん}箴言14:31

主は与え、主は取られる。主の^{みな}御名はほむべきかな。ヨブ 1:21

2 おじいさんの家で

アルムじいの山小屋での初日。当初、寡黙なアルムじいと元気なハイジの違いが際立っているが、ハイジの可愛らしさにアルムじいもほだされていく。元々、きちんと小屋を管理し、器用に手仕事をし、大切に山羊を飼育していたアルムじい。読者の予想を裏切って、優しくハイジの面倒を見る。かのアルムじいの貧しい山小屋で、ハイジは心身ともに満たされて、一日を終える。

アルムじいとハイジ — 対照的な二人

	アルムじい	ハイジ
動き	ベンチに腰を下ろし 動かない	探検する、ぴょんぴょん跳ねる、よく動く、部屋の中をすみからすみまで歩き回ってくまなく調べる、せわしなく動き回る、踊る、(山羊の群れに)飛び込む、はしゃぐ
口	ひとことも口をきかない ぶっきらぼう	さけぶ、相手が返事するのも間に合わないくらいたてつけにたずねる、声をはりあげる
目	地に目を落としている 鋭い目	色々なところをくまなく見る、覗き込む、何を見せてもらえるか、待ち遠しさにキラキラ輝く、うっとり見とれる、わき目もふらずにじっと見物



その後のアルムじいの実際の様子

- ① ハイジの作ったベッドをほめる
- ② ベッドの厚みを2倍にしてあげる
- ③ 美味しい昼食をたっぷり出す
- ④ 率先して行動するハイジをほめる
- ⑤ 家の中も山羊小屋の中もきちんと片付いている
- ⑥ 山羊を大事にしている
- ⑦ すぐにハイジ用の家具を作る
- ⑧ 小屋の修繕をきちんとする
- ⑨ 夕食を出し、身の回りの物の場所を教え、早めに寝かせる
- ⑩ 真夜中、激しい風に小屋全体が揺れ、音を立てると、ハイジが怖がっていないかと心配し、起き上がって様子を見に行く。



第一章で見たアルムじいの評価は果たして妥当だったのでしょうか？

アルムじいの視線の変化

ハイジ到着時：地に目を落とし、視線は鋭かった (24、25 頁)。



夕方：アルムじいはハイジのことをじっとながめる (33 頁)。



真夜中：ハイジの寝顔を長いこと見守っていた (37 頁)。



この章で見られるアルムじいの実際の暮らしぶりから下す、あなたのアルムじいの評価はどのようなものですか？

シュペリが生き、小説の舞台に描いた 19 世紀のスイスはとても貧しい国でした。特に、スイスのアルプスは危険極まりない未開の地と思われていたようです。13 章に「ゼバスチャンの目には、この地方はまだ半分野蛮国みたいに思えたのです。」(245 頁)とあります。その山奥で、山羊 2 頭しかいない小さな小屋に連れてこられたハイジ。しかしハイジは、「こんなおいしいののんだの、はじめて」(31 頁)という新鮮な山羊の乳を飲み、「すてきな味わい」(32 頁)の食事をし、「世界一の王様のベッドでもなければ、こんな眠りは味わえない」(36 頁)睡眠を得ました。



本当の豊かさとは何でしょうか？人間らしい暮らしとは、どのような暮らしでしょうか。



THE BIBLE SAYS ... 聖書のことば

人がみな食べたり飲んだりして、すべての労苦の中に幸せを見出すことも、神の賜物である。伝道者の書 3:13

働く者は少し食べても多く食べても、心地よく眠る。伝道者の書 5:12

人の手の働きはその人に報いを与える。箴言 12:14

今の世で富んでいる人たちに命じなさい。高慢にならず、頼りにならない富にではなく、むしろ、私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませてくださる神に望みを置（くように。）第一テモテ 6:17

Week 3

3 牧場にて

はじめてアルムの牧場で丸一日を過ごすハイジ。草花、山羊、夕焼けと、見るものすべてに驚きと感動を隠せないハイジは、口下手の山羊番ペーターと何とも幸せな一日を送る。何でも知りたいハイジと、必要以上に知ろうとしないペーター、何でも知っているアルムじいのやり取りが楽しい。素晴らしいアルムの夏を読者にも臨場体験させる章。

おてんとうさま

朝目が覚めたハイジに、アルムじいは顔を洗うように言います。「顔をあらってきちんとしなくちゃ、おてんとうさまにわらわれるぞ。」と言うのです(39頁)。おてんとうさまは太陽です。この時点で神を信仰していないアルムじいにとって、「すべてを見ている存在」の至高のものは太陽ということなのでしょう。



天地をつかさどり、すべてを見通す存在、つまりまるで「神」のように、太陽に敬意を持ちたり畏れを抱いたりする気持ちがあなたにもありますか？

アルプスの花々

ハイジは美しいアルムの花々に心を奪われます。ハイジがエプロンいっぱい摘んで帰ると、夕方には花はしおれていました。エプロンに包まれている花はウルゼルばあさんのところで家にこもっていなければならなかったハイジ(38頁)、野原で日に向かって顔を上げ、風に揺れている花は、今のハイジを、それぞれ象徴しているのかも知れません。



鷹

ハイジは山の上で鷹を見ます。山の上高く舞い巡り、鋭い、しわがれたさけび声で下に向かって鳴く鷹。この鷹は、山小屋に一人住むアルムじいの姿です。鷹はなぜ鳴くか、というハイジの問いに対するアルムじいの答え(60、61頁)の中に、アルムじいの気持ちがこもっています：「てめえらもばらばらになって、ひとりずつ好きなようにして、おれみたいに高いところへのぼって見たらどうだ、よっぼどましだぞ。」

名前で呼ぶ

山羊番ペーターに教えられ、ハイジは山羊の名前を全て覚えました。注意深く見れば、山羊にも一匹一匹特徴があり、見分けることができるのです。「名前で呼ぶ」ということは、その対象に関心と愛情を持っていることのあらわれです。1章では、ペーターのお母さんの本名はブリギッテなのに、いつも皆から「山羊番ペーターのおっかあ」としか呼ばれないこと、ペーターのおばあさんは「おばあ」と呼ばれていることを見ました(13頁)。アルムじいも「アルムじい」で、私たちは最後まで彼らの本名を知ることはありません。ハイジの山羊に対する関心・愛情の方が、デルフリ村人のペーター一家やアルムじいへの関心・愛情よりもはるかにまざっているのです。



おてんとうさまはあなたの名を知っていると思いますか。神は、あなたの名を知っていると思いますか。



ハイジは、みなしごとなったユキンコをいつくしみます。自分も父と母を亡くしたハイジだからこそ、ユキンコに特別の共感を覚え、同情し、大切にすることができるのでしょう。



苦しいこと、悲しいことを経験すると、人はもっと優しくなると思いますか。

太陽は語る

ハイジは山が燃えるようなアルムの夕焼けに感動してしまいます。アルムじいは、夕焼けというのは、一番きれいな光を投げかけつつ、山におやすみを言う太陽の仕業だ、と説明します（62 頁）。確かに、聖書によれば昼（昼を司る太陽）は話します。右の詩篇 19:1-2 を読んでください。聖書によると太陽（また天の万象）は何を語り、私たちに知らせようとしているのでしょうか。

詩篇 19:1-2

天は神の栄光を語り告げ
大空は御手のわざを告げ知らせる。
昼は昼へ話を伝え
夜は夜へ知識を示す。



THE BIBLE SAYS ... 聖書のことば

草はしおれ、花は散る。しかし、私たちの神のことばは永遠に立つ。イザヤ 40:8

慰めに満ちた…神は、どのような苦しみのときにも、私たちに慰めてくださいます。それで私たちも、自分たちが神から受ける慰めによって、あらゆる苦しみの中にある人たちを慰めることができます。第二コリント 1:3-4

神について知りうることは…明らかです。神が…明らかにされたのです。神の、目に見えない性質、すなわち神の永遠の力と神性は、世界が創造されたときから被造物を通して知られ、はっきりと認められる（のです）。

ローマ 1:19-20

Week 4

4 おばあさんの家で

牧場通いの夏は終わり、秋もまた過ぎ去って、冬ごもりの暮らしが始まる。しかし、雪深いアルムの冬も、ハイジには退屈ではない。既にペーターと山羊たちにとってかけがえのない存在となっているハイジは、この章でおばあ（ペーターの祖母）と親しくなる。目の見えないおばあは、ハイジの訪問を毎日心待ちにするようになる。おばあにとっても、ハイジはなくてはならない存在となる。

ハイジの魔法

ハイジは、おじいさんの大工仕事やチーズ作りを見物します。自分がどこで何をしようと、いつも興味をもって傍で見ているハイジのために、アルムじいは家中に二人で座れる場所をしつらえました。



ハイジ恋しさにペーターが山小屋に遊びに来ると、アルムじいは二人のやり取りに耳を傾け、ペーターにごちそうします。以前はただ傍から見ていたようなところも、今やハイジと一緒にみみの木をひとまわりするなど、山小屋だけでなく、確実にアルムじい自身も変化しています。

ハイジのおばあ訪問

アルムじいがそりで連れて来てくれたと言うハイジや、夏中アルムじいのことを話していたペーターのことを、ペーターのお母さんもおばあさんも信じません。子供だからよくわかっていないと思っているのです。



このように、聞く側に凝り固まった考え（固定観念）があって、話者が真実を話しているのにそれを信じることができない、信じようとしなない、ということはあると思いますか？

ペーターの家の問題

- Ⓐ 暗い（そこらじゅう、まっくろ）
- Ⓑ 昔ながらの小さな家
- Ⓒ 風が吹き込みほうだいで、よろい戸も、家じゅうどこもかも、がたがたぎしぎしいう
- Ⓓ 家じゅうこわれているが、男手がないので修繕ができない
- Ⓔ 字を読める人がいない（おばあは目が見えず、ブリギッテとペーターは字が読めない）



おばあを訪ねたハイジは、ペーターの家の多くの問題に気づきます。解決できる問題と、できない問題がありますね。小説ハイジで、多くの問題は解決していきますが、どのように解決されていくか、想像してみてください。

おばあに光を取り戻すには

ハイジの提案

- 戸を全開して明るくすれば見える。
- 真っ白な雪の中へ出れば見える。
- 夏になって日が照りつけば見える。
- 夕焼けで山が火事のように赤くなり、黄色い花がきらきら光れば見える
- アルムじいなら、目もおしてくれる。

おばあの考え

- 楽しみを持つと明るくなる。特に優しいことばを聞きたい。
- ハイジが来て楽しくおしゃべりしてくれれば明るくなる。
- 古いお祈りの本にきれいな歌がのっている。それを聞けば明るくなる。

ハイジは自分の提案では決しておばあの目を明るくしてあげることではできないと知り、それを思うたびに心から悲しくなります。その度、ハイジさえいてくれれば、そんなことはちっとも苦にならないと、ハイジを慰めるおばあ。ハイジに全幅の信頼を寄せられているアルムじいも、冬の間にペーターの小屋をしっかりと修繕し終えます (88 頁)。寒い寒いアルムの山の上に、ほっこり小さな愛の空間ができています。



たえず心待ちにするものがあると暮らしによるこびが訪れます (86 頁)。希望があると前向きに生きていけます。あなたの楽しみは何ですか。あなたに希望を与えてくれるのは何でしょうか。



THE BIBLE SAYS ... 聖書のことば

喜んでいる者たちとともに喜び、泣いている者たちとともに泣きなさい。ローマ 12:15

心の不安は人を落ち込ませ、親切なことばは人を喜ばせる。箴言 12:25

私は山に向かって目を上げる。私の助けはどこから来るのか。私の助けは、主から来る。天地を造られたお方から。詩篇 121:1-2

イエスは…語られた。「わたしは世の光です。わたしに従う者は、決して闇の中を歩むことがなく、いのちの光を持ちます。」ヨハネ 8:12

Week 5

5 お客さま、それにつづくもろもろのこと

学齢に達したハイジはどこで生きるべきか。牧師はデルフリ村、デーテはフランクフルト、アルムじいはアルムの山だと考える。結局、デーテの強引な手法（話法）により、ハイジは急遽、フランクフルトに行くことになる。アルムに残された者の毎日は暗くなり、ハイジの人生も、ここで大きく変わる事となる。

ハイジに最適な環境・必要なもの

牧師：デルフリ	デーテ：フランクフルト	アルムじい：アルム
コミュニティー	文化・文明	自然
学校	お金	動物
教会	家庭教師	生きていくのに必要なスキルの習得

1章の舞台確認で、シュピリはアルムを楽園として描いているわけではないことを見ました。シュピリはフランクフルトを悪い場所として描いているわけでもありません。多くの人にとってフランクフルトは、スイスの山岳地帯よりもはるかに文明の進んだ、「もっと人間らしい暮らし」のできる場所であり、デーテの眼には、「姪が間違いなく幸せになれる場所」なのです。



生活の場として、あなたは田舎と都市のどちらを選びますか。学齢期の子供がいるとしたらその選択は変わりますか？

でまかせデーテ

口から出まかせで人を動かすデーテは誠実ではありません。本当のことを真実に語ってハイジを説得することもできたのではないのでしょうか。



デーテはハイジに何と言ってフランクフルト行きを言いくるめましたか。あなたが姪の幸せを願う叔母のデーテだったとしたら、どのように物事を運んだと思いますか。



THE BIBLE SAYS ... 聖書のことば

人がひとりでいるのは良くない。創世記 2:18

兄弟愛をもって互いに愛し合い、互いに相手をすぐれた者として尊敬し合いなさい。ローマ 12:10

愛をもって真理を語り（ましょう）。エペソ 4:15

6 あたらしい暮らし、あたらしいことずくめ

図らずもフランクフルトのゼーゼマン邸で暮らすことになるハイジ。山出しのハイジと格式を重んじるロッテンマイアの間には暗雲が立ち込める。しかし、ゼーゼマン邸が、クララ、ゼーゼマン氏、おばあさまと、3世代に渡ってなかなかの人格者が揃うお屋敷であったため、ハイジにとって「ただ辛いだけ」ではない、悲喜こもごものフランクフルト生活が始まる。

外見か、中身か 格式か、人格か

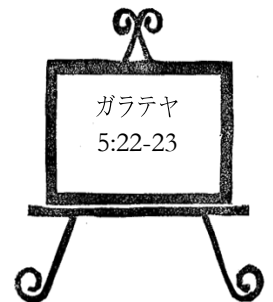
ロッテンマイアさんは、ハイジのことを初めから気に入りません。一目で、ハイジが貧しいことと田舎者であることが見て取れたからです。その後、ハイジの名まえ、歳、学歴を問い正しますが、その答えもすべて、彼女にとって、「とんでもない!!」ものでした。このように、ロッテンマイアさんがハイジを全否定する中で、クララは「あなたはハイジとアーデルハイトと、どっちで呼ばれるのがいいの?」と、ハイジの人格を尊重する声かけをします(116頁)。

ロッテンマイアさんはクララの遊び相手(友)として、「そんじょそこらの子とはまるきりちがった子」(115頁)、「そんじょそこらの子とはちがう、ごく純真な、はっきりした個性のある子」(5章、98頁)を望んでいたつもりでした。しかし実際には、自分のお眼鏡にかなう子でなければ許容できなかったのです。



私たちも、型にはまらない子(人)を望んでいるようで、子供(人)を自分の望みの型にはめようとしてしまっている、ということがあると思いますか。

デーテもロッテンマイアさんも、ハイジは礼儀作法を知らないと言います。しかし、相手への敬意、気配りが礼儀作法の土台であるなら、ハイジに対して無礼なロッテンマイアさんこそ、礼儀を知らない、と言えるのではないのでしょうか。



THE BIBLE SAYS ... 聖書のことば

人はうわべを見るが、主は心をみる。第一サムエル 16:7

うわべで人をさばかないで、正しいさばきを行いなさい。ヨハネ 7:24

愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、苛立たず、人がした悪を心に留めず、不正を喜ばずに、真理を喜びます。すべてを耐え、すべてを信じ、すべてを忍びます。第一コリント 13:4-7

Week 6

7 ロッテンマイアさんのゆううつ



ハイジが意図せず次々とやらかす事件に巻き込まれ、てんてこ舞いするゼーゼマン家の人々。威風堂々、格式張って生活していたロッテンマイアが、ハイジのせいで興奮したり、飛び上がったたり、真っ青になって叫んだりする様はととてもコミカル。

ハイジの事件簿 no.1

- ① 朝食に呼ばれても来ない
- ② 勉強道具をひっくり返す
- ③ 無断外出
- ④ こねこを連れ帰る

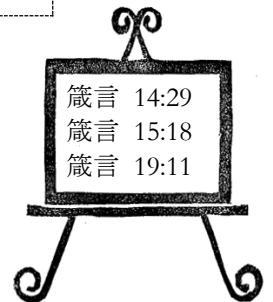


怒りんぼのロッテンマイア女史

6章	少々腹をたてたふうにさげぶ あきれはててさげぶ ひどくお腹立ちのようす よけい腹が立つ	ゼバスチャンをしっかりとばす ひどくつんけんした声 いっそう気がむしゃくしゃ たいへんなお腹立ち
7章	またしてもすっかりお腹立ち ハイジをしっかりとつける 爆発寸前 こわい顔、いかめしい調子	いよいよ怒って、声をうわずらせながら、さげぶ さげぼうとしたが、あまりのぼせあがって声も出ない さんざん、むしゃくしゃ、ぶりぶり
8章	にらみをきかす うんとこらしめて、思い知らせてやるつもり 腹立ちのあまりまっさおになる	怒りは、いっこうにうすれない かんかんになって、手を打ち合わせる



? 下の聖書のことばを見てください。あなたは怒りっぽいですか。「怒って当然」というようなことをされた時、怒りをしずめることは容易ですか。神は、ロッテンマイアのように、人が失敗したり悪いことをしたら、怒るでしょうか。



THE BIBLE SAYS ... 聖書のことば

無慈悲、憤り、怒り、怒号、ののしりなどを、一切の悪意とともに、すべて捨て去りなさい。エペソ 4:31

聞くのに早く、語るのに遅く、怒るのに遅くありなさい。人の怒りは神の義を実現しないのです。

ヤコブ 1:19-20

怒っても、罪を犯してはなりません。憤ったままで日が暮れるようであってははいけません。エペソ 4:26

8

さわぎはまだつづく

怒るロッテンマイア見物を楽しみながら、ハイジの味方になっていくゼバスチャン。いつまでもハイジを見下し、不親切なチネッテ。一向に字を覚えぬハイジに当惑しつつも、慎重に、公平に、忍耐深く教える家庭教師の先生。失敗を重ね、怒られながら、少しずつ「ロッテンマイア・ルール」を覚えていくハイジ。かつては平穏無事だったゼーゼマン邸で、さわぎは続く。



ハイジの事件簿 no. 2

- ④ 手回しオルガンの男の子と亀の来訪
- ④ バスケットいっぱいの子猫の宅配
- ④ 家出未遂
- ④ 衣装だなからパン



ハイジのストレス

フランクフルトでいくら衣食住の恵まれた生活をして、また、どれだけクララやゼバスチャンが優しくても、ハイジはやはり家に帰りたいのです。しかし、家出未遂事件の際に、家に帰りたいと願うことは思知らずなことであると叱られてから、ハイジは心の内を誰にも話せなくなってしまいます。過度のストレスは心の病に発展するという、最近では広く知られてきたことを、19世紀の著者、シュペリはよく分かっていたようです。



下の聖句の上半分は、ゼバスチャンとチネッテのことを読んで、思い浮んだ聖句です。下半分は7章との関連で、神はどのような方かを教えてくれる聖句です。ロッテンマイアと比べましょう。

THE BIBLE SAYS ... 聖書のことば

しもべたちよ、敬意を込めて主人に従いなさい。善良で優しい主人だけでなく、意地悪な主人にも従いなさい。
第一ペテロ 2:18

やもめ、みなしご、寄留者、貧しい者を虐げるな。ゼカリヤ 7:10

親切なことばは蜂蜜。たましいに甘く、骨を健やかにする。箴言 16:24

主は あわれみ深く 情け深い。怒るのに遅く 恵み豊かである。詩篇 103:8

主よ あなたがもし 不義に目を留められるなら 主よ だれが御前に立てるでしょう。しかし あなたが赦してくださるゆえに あなたは人に恐れられます。詩篇 130:3-4

恵みとまことによって、咎は赦され、主を恐れることによって、人は悪を離れる。箴言 16:6



9 ゼーゼマン氏のきかされたこと

優しく、娘思いのゼーゼマン氏が帰宅。ロッテンマイアは、クララの遊び相手として、ハイジがいかに相応しくないかを主人に伝えようとするが、当のクララはハイジが大好きで、他の誰といるより楽しいと父親に報告。これが決め手となってハイジのフランクフルト残留が決まる。ゼーゼマン氏は2週間後、再び仕事でパリに戻る。

ほうとうむすこ 放蕩息子のたとえ話

次章でおばあさまがハイジに見せる絵本の中で、ハイジの一番気に入る羊飼いの話は、実は聖書に出て来る、有名な「放蕩息子のたとえ」がもとになっています。次章の最後（197-8頁）に話の要約が載っています。



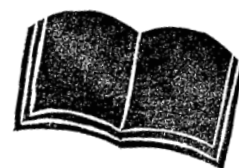
下にある聖書の放蕩息子のたとえ話と、シュピリが小説「ハイジ」に載せた羊飼いの話では、どこが違っていませんか。なぜシュピリはこのような話を変えたのでしょうか。



THE BIBLE SAYS ... 聖書のことば

ある人に二人の息子がいた。弟のほうが父に、『お父さん、財産のうち私がいただく分を下さい』と言った。それで、父は財産を二人に分けてやった。それから何日もしないうちに、弟息子は、すべてのものをまとめて遠い国に旅立った。そして、そこで放蕩して、財産を湯水のように使ってしまった。何もかも使い果たした後、その地方全体に激しい飢饉が起り、彼は食べることに困り始めた。それで、その地方に住むある人のところに身を寄せたところ、その人は彼を畑に送って、豚の世話をさせた。彼は、豚が食べているいなご豆で腹を満たしたいほどだったが、だれも彼に与えてはくれなかった。

しかし、彼は我に返って言った。『父のところには、パンのあり余っている雇い人が、なんと大勢いることか。それなのに、私はここで飢え死にしようとしている。立って、父のところに行こう。そしてこう言おう。「お父さん。私は天に対して罪を犯し、あなたの前に罪ある者です。もう、息子と呼ばれる資格はありません。雇い人の一人にしてください。』」こうして彼は立ち上がって、自分の父のもとへ向かった。ところが、まだ家までは遠かったのに、父親は彼を見つけて、かわいそうに思い、駆け寄って彼の首を抱き、口づけした。息子は父に行った。『お父さん。私は天に対して罪を犯し、あなたの前に罪ある者です。もう、息子と呼ばれる資格はありません。』ところが父親は、しもべたちに行った。『急いで一番良い衣を持って来て、この子に着せなさい。手に指輪をはめ、足に履き物をはかせなさい。そして肥えた小牛を引いて来て屠りなさい。食べて祝おう。この息子は、死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから。』こうして彼らは祝宴を始めた。 ルカ 15:11-24



10 おばあさま

息子（ゼーゼマン氏）と入れ違いで屋敷にやってきたおばあさま。始終嫌な顔をしてハイジを「監視」している割に、大切なことには何一つ気づかないロッテンマイアと違って、おばあさまはハイジの元気のない様子や、ハイジの泣きはらした顔などを、瞬時に見て取る。このおばあさまの助けにより、ハイジは字を読むこと、読書の素晴らしさ、そして、神に祈ることを学ぶ。



おばあさま

小説ハイジをすてきなものになっている要素の一つが、鋭くも優しいおばあさまです。彼女は大変なお金持ちであり、また賢い人ですが、人生にはお金ではどうしようもできないこと、自分の知恵では解決できないことがあると知っています。そして、神がどんな時も、どんなことから、かならず助けてくださるという信仰をもって、祈って生きています。



クララやハイジは、おばあさまのどんなところが大好きですか。逆に、ロッテンマイアさんは、おばあさまのどんなところが嫌いですか。あなたは、おばあさまのどんなところが良い、または良くないと思いますか。

読書の素晴らしさ

字が読めるようになったハイジは、おばあさまから本をプレゼントされました。そして、この本の前にすわりこんで、きれいな色とりどりの絵のついたお話にくりかえし読みふけるのが、ハイジの何よりのたのしみになりました（197頁）。フランクフルトのゼーゼマン邸に籠り切りでも、読書をするたびに、ハイジの心は自由にお話の世界を旅できたのです。



あなたは読書が好きですか。どのような本が好きですか。



THE BIBLE SAYS ... 聖書のことば

主は 天から目を注ぎ 人の子らをすべてご覧になる。 御座が据えられた所から 地に住むすべての者に目を留められる。 主は 一人ひとりの心を形造り わざのすべてを読み取る方。 詩篇 33:13-15

あなたの重荷を主にゆだねよ。 主があなたを支えてくださる。 詩篇 55:22

ほむべきかな 主。日々 私たちの重荷を担われる方。この神こそ 私たちの救い。 詩篇 68:19

すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。

マタイ 11:28

11 よろこびとかなしみと



ハイジに読書と裁縫を教え、また、細やかな気遣いを見せてくれた優しいおばあさまも、自宅に戻っていく。ゼーゼマン邸に残されたハイジは、ますます孤独にホームシックと闘うことになる。

叶えられない祈り

ハイジは、神に祈るということを教えられてから、「どうぞまたおじいさんのところへ帰れますように」と心からお祈りしました (194 頁)。しかし一向に祈りがきかれる気配がないので、祈ることを止めてしまいます。



ハイジは、祈りが聞かれない理由を何だと考えていますか。これに対し、おばあさまは、祈りが聞かれない理由をどのように説明していますか。

おばあさまは更に、信仰者の心得として①せっかく助けてくださる神様に、自分から背いてはダメ、②ばかなことをしてしまっても、あやまれば神様は赦してくださる、③いつかきつといいようにしてくださるだろうと信じて神様に拠り頼み続けることが大事、と教え諭します。これを受けてハイジも、神に赦しを願い、もう二度と神を忘れないと決意します。

泣くことさえも…

読んでいた本の中のおばあさんが死んでしまったことにより、もしかしたらアルムのおばあさんもおじいさんも自分が帰る前に死んでしまうのではないかという新たな不安を感じるハイジ。しかし、また今度泣いたら本を取り上げるとロッテンマイアさんに脅されて、ハイジはゼーゼマン邸では泣くこともできなくなってしまいます。



THE BIBLE SAYS ... 聖書のことば

主を呼び求める者すべてに 主は近くあられます。

また 主を恐れる者の願いをかなえ 彼らの叫びを聞いて 救われます。詩篇 145:18-19

イエスは…答えられた。「わたしがしていることは、今は分からなくても、後で分かるようになります。」

ヨハネ 13:7

人にはできないことが、神にはできるのです。ルカ 18:27

神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。ローマ 8:28

12 ゆうれい登場

ついに夢遊病を発症するハイジ。ゼーゼマン氏が「幽霊退治」のための夜番の付き添いに、友人の医師を選んでいたことが功を奏して、ハイジの即時帰郷が決定される。



孤独な闘い

前章以降、ハイジのひどいホームシックは増々悪化していきます。ハイジの様子を見てみましょう。

- 無理に自分を押しさえつける
- 胸もはりさけそうな思いを我慢する
- 食べ物が喉を通らない
- げっそりやせて青ざめる
- 夜ごと、声を殺してしのび泣く
- 美しいアルムの自然を見たいという思いが日に日につのる
- アルムを思い出させる名前を読んだだけで、胸がきゅっと締め付けられる
- 太陽の光を見ないようにする
- 身動きもせず声もたてずに、こがれるような望郷の思いと闘う

このような過度のストレスのもと、自分の感情を押し殺し続けることがたたって、ハイジは夢遊病を発症してしまったのです。



ハイジは、なぜ祈りを聞いてくれないのですか、と神に訴えたのでしょうか。あなたは祈ることがありますか。下の聖書箇所のように、「なぜですか」「いつまでですか」と、神様に自分の心の内をぶつけたことがありますか。

幽霊騒動

ゼーゼマン邸では、しっかりと戸締りをしていても毎朝玄関の戸が開いている、しかし盗みの形跡はない、ヨーハンが深夜に白い影を目撃する、といった奇妙な現象が続きます。この幽霊騒動でゼーゼマン氏が帰宅し、医師とゼーゼマン氏の二人で夜番をしたことがきっかけで、ハイジの夢遊病が発覚するのです。



THE BIBLE SAYS ... 聖書のことば

主よ なぜ あなたは遠く離れて立ち 苦しみのときに 身を隠されるのですか。詩篇 10:1

主よ いつまでですか。 あなたは私を永久にお忘れになるのですか。詩篇 13:1

主は言われた。「わたしは…わたしの民の苦しみを確かに見、…彼らの叫びを聞いた。わたしは彼らの痛みを確かに知っている。」出エジプト 3:7

13 夏の夕暮れのアルム

ハイジの帰郷。家に帰る山道で、夢に見ていた以上に美しい故郷の景色に圧倒され、神に感謝するハイジ。おばあの無事を確認した後、ついに祖父の家に戻って来たハイジは、一年ぶりに干し草のベッドでぐっすりと眠る。



THE BIBLE SAYS ...

聖書のことば

私の神 主よ 私はとこしえまでも あなたに感謝します。詩篇 30:12

ほむべきかな 主。 主は私の願いの声を聞かれた。 主は私の力 私の盾。 私の心は主に抛り頼み 私は助けられた。 私の心は喜び踊り 私は歌をもって主に感謝しよう。詩篇 28:6-7

14 日曜の鐘の音

帰郷から一夜明けた土曜日、ハイジはおばあと時間を過ごす。ハイジが賛美歌を読んであげると、おばあの顔は輝いた。帰り道の会話がきっかけとなり、その晩、ハイジはアルムじい「羊飼いの話」を紹介することができた。その夜、アルムじいは、実に何十年ぶりに、神に祈る。日曜の朝、教会に行く二人。牧師、デルフリの人、ペーター一家と親交を回復したアルムじいの顔も輝いていた。

おばあの喜び

ハイジはおばあのために、古い歌の本の中から「お日さまの歌」を読んであげます。これは、ドイツの牧師パウル・ゲルハルトが 1666 年に作詞した「朝」がテーマの賛美歌です。全部で 12 節ありますが、シュピリは小説の中で 1、2、8、12 の 4 節を引用し、最後の部分は、おばあのアンコールに応じて 2 度も引用しています。

お日さまの歌

福音館書店「ハイジ」矢川澄子訳 269-272 頁

- | | |
|---|--|
| <p>1. 金色の太陽は よろこび さいわいにみち
かがやきながら わたしたちにもたらず
さわやかな 心なごむひかりを</p> <p>うちひしがれて地にあった わたしの^{かしら}頭 手足
けれども いまは立ち上がり ^{おも}面あげて
はれやかにほがらかに 天をあおぐ</p> <p>2. わたしの眼はおおぎみる ほまれある神のみわざを
み力の強さ 大きさを 告げ知らせるために
神のなされたもうた もろもろのみわざを</p> <p>神のみわざは しめす ただしきもの行く手を
はかないこの世をあとに いつの日か
心やすらかに おもむくべきところを</p> | <p>8. すべてはうつろう ただ 神だけは
ゆるぎなくおわします
みことば み声 みところは とわのいしずえにもとづく</p> <p>みすくい みめぐみは かけることなく
たえがたい この胸の 痛みをいやし
あらゆるなやみから まもりたまう</p> <p>12. 十字架も 苦しみも いつかはおわる
さかまく波も あらしも すぎさって
待ち望んだ太陽が照りかがやく</p> <p>あふれるよろこびと きよらかな静けさは
天の^{そのう}園生でこそ もたらされるだろう
あこがれのその地へ 心はいそぐ</p> |
|---|--|



お日さまの歌の 12 節は、どのような意味でしょうか。これを聞いておばあはとても喜びました。なぜでしょうか。

放蕩息子

おばあにパンを買ってあげることができ、本も読んであげられる、今このタイミングで帰郷できたことは、1年前に帰って来るよりも本当に良かったのだと、ハイジは神様のとりはからいに感謝します。そして、このハイジの言葉に反応したおじいさんとの会話がきっかけとなって、ハイジはおじいさんに大好きな「羊飼いの話」をシェアすることができました。

? 羊飼いの父親は、息子が外国に行っている間、息子のことを忘れていたと思いますか。9章の放蕩息子のたとえ話の父親の姿をもう一度読んでみるとヒントがあります。このことから、おばあさま直伝のハイジの神学で修正すべき点はどこでしょうか。

アルムじいの変化

もう神にも人にも受け入れてもらえないのだと決めて、神とも人とも付き合わずに生きて来たアルムじいでしたが、ハイジの話聞いたその夜、祈りました。その後、(1) 教会に行く、(2) 牧師に謝罪する、(3) 村人と和解する、(4) ペーターの家の中に入り、皆と仲良くするという、大変身を遂げます。(このほかに、アルムじいの表情や気持ちの面ではどのような変化がありましたか。)



アルムじいの変化を受けて、村人たちも変わります。しかし、私たちが変わる前に、大きな愛を示し、受け入れようと待っていてくれるのが神です。

? 牧師の言った「おとなりさん、あんたはわたしの教会にくるまえに、まず真実の教会においてなすったわけだ。よかったですなあ。」(286-7頁)とはどういう意味でしょうか。

大自然は美しくとも、人間関係のギスギスしていたデルフリとアルムに、ようやく真の平和が訪れました。「神さまとも人間とも仲よくすると、こんなにいい気持ちになれるんだ。」(289頁)このアルムじいの発見を、読者にもしてほしい、小説ハイジを書くことを通して、シュピリはこの願いを伝えようともしていたと思います。

THE BIBLE SAYS ... 聖書のことば

そのとき、目の見えない者の目は開かれ、耳の聞こえない者の耳は開けられる。そのとき、足の萎えた者は鹿のように飛び跳ね、口のきけない者の舌は喜び歌う。イザヤ 35:5-6

主の戒めは真っ直ぐで 人の心を喜ばせ 主の仰せは清らかで 人の目を明るくする。詩篇 19:8

主を仰ぎ見ると 彼らは輝いた。味わい 見つめよ。 主がいつくしみ深い方であることを。詩篇 34:5, 8

受けるよりも与えるほうが幸いである。使徒 20:35

神のなさることは、すべて時にかなって美しい。伝道者の書 3:11

私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます。ローマ 5:8

私たちは愛しています。神がまず私たちを愛してくださったからです。第一ヨハネ 4:19

互いに親切にし、優しい心で赦し合いなさい。神も、キリストにおいてあなたがたを赦してくださったのです。
エペソ 4:32

互いに忍耐し合い、だれかがほかの人に不満を抱いたとしても、互いに赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたもそうしなさい。コロサイ 3:13

引用文献

J.シュピーリ 『ハイジ』 矢川澄子訳（福音館書店、2016年 [初版発行 1974年]）

聖書 新改訳 2017 ©2017 新日本聖書刊行会 許諾番号 4-2-694 号